

令和4年 11 月 24日

13：30～14：55

令和4年度 第2回学校協議会 議事録

【参会者】

藤本 隆司 様（本協議会委員長）、鉄本 佳代子 様（第二新緑自治会長）

佐々木 信子 様（スポーツ推進委員）、石部 巧 様（鳥飼東公民館館長）、校長 計5名出席

【内容】

1. 授業の様子

- ・授業の様子を5分程度ずつ参観。

2. 前回（6/30）以降の学校の様子

- ・学校行事等を中心に、校長より簡単に説明。

3. 学校経営計画の進捗状況・学校アンケートの結果

- ・学校アンケートの集計結果に基づき、考察した内容を校長より説明。目標値と集計結果を比較し、達成状況等について大まかに確認するとともに、学校経営計画の進捗状況について報告。
- ・「いじめに関する取組み」の項目において、保護者の「わからない」の数値が昨年度に比べて減り、肯定的回答の数値が上昇。本校の取組みを周知してきた成果が表れたのではないかと考えられる。

4. 質疑・応答・感想

- ・アンケートの結果から「保護者の思い」と「子どもたちの思い」に差のある項目が幾つかあるようだ。
PTA や地区懇談会など、保護者の方や地域の方を学校に集め、子どもたちの健全な育成に向けて、懇談をしたり、情報交換をしたりするような場や機会が以前にはあった。今はそれらがあるのか？
→この3年間はコロナの影響を受け、人を集めて話をする場や機会を設けることができていない。地区の運動会も軒並み中止となり、地域の自治会長さんとお会う機会さえももてていないのが現状である。
- ・修学旅行の行先について、昔は伊勢神宮へ参拝などもしていたが、摂津市はかなり前から広島へ平和学習に赴いている。今の子どもたちに平和の大切さを学ばせることは、大変意義深いことである。
また、以前から取り組まれてきた「夏休みの8/6 平和登校日」も摂津市の良い取り組みである。一方、被爆体験者の高齢化が進んでおり、あと5年もすれば直接話を伺うことが難しくなると思われる。
→市として観光目的で修学旅行へ行くのではなく、平和の尊さを学ばせる目的で行先を選定している。
本校では、2日目に「姫路セントラルパーク」での体験学習を取り入れ、思い出づくりも兼ねている。
- ・プリントやメールや学校ホームページなど、情報手段は沢山あるが、子どもが家に帰って、その日に学校で起こった出来事を直接保護者に伝えることこそが、一番の情報発信となる。普段から親子が会話をすることで、学校の状況や様子が保護者により正確に伝わるものと思われる。
→子ども会やPTA や自治会などの活動が上手く回っていた頃は、専業主婦の方が多かった時代だが、今は共働きの家庭も増えており、以前のスタイルのまま活動を継続することは非常に困難な状況となっている。今の時代に合わせて、負担なくやれる方法を模索しなければならないと思われる。

5. その他

- ・第3回学校協議会は、令和5年1月16日～20日までの間で日程を調整し、総括を行う予定。